

これって変じゃないですか？

ひろば

2010年10月

N0190

〈発行〉

日立小田原地区

(ひろば)

編集委員会

TEL「気付」

0465 (37) 4426

労働問題の相談は

電機ユニオンへ

神奈川支部

080-5060-7728

労働条件雇用状態の悪化が事業所に蔓延

日立GSTの職場では、人員調整と称して全く業務内容の異なる漬物屋さん等に出向させられたり、業績が上向いた後も元の職場に戻れない人や、黒字になっても、派遣社員で埋め合わせをしている。

現職復帰が原則であるにもかかわらず、白衣の洗濯を請け負っていた清掃会社から、育休明けの女性社員に、洗濯ばかりの仕事に就かせる等はリストラ前提のいやがらせではないでしょうか。

日立RSD事業部で雇用延長になった女性が2年目の雇用継続を交渉した際、来年からは週3日で働いて下さい、円高のため厳しい状況になったとの理由、仕事量は週5日労働とすこしも変わらない「円高はわたしのせいではありません」。

日立労組小田原支部労働協約15条「出向」では

出向を実施するにあたり、事業部は総合的にみて労働条件を低下させぬよう労働条件、期間等も明示する。また、決定後速やかに支部に連絡する等、円滑な実施に努力する。

高齢者雇用安定法は

希望者全員の再雇用を

すべての企業に義務付けています。

団塊世代の定年退職期を迎え、(株)日立コンピュータ機器では役職者を含め、「一切の再雇用を認めない」として、年金満額支給前の退職者を路頭に迷わせています。

この制度は年金の支給を段階的に65歳まで引き上げた為、生活不安の払拭を目的に、すべての企業に年金満額支給時まで雇用延長、あるいは再雇用を義務付けたもの。「企業業績の悪化」等を理由にこの法律の適用を怠ったり、「わが社にはその様な制度は無い」などとは、許される事ではありません。多くの日立の職場では、元気に再雇用で働いている仲間がたくさんいます。この法律はすべての定年退職者を保護する為の制度です。労働組合と共に、堂々と主張してゆきましょう。

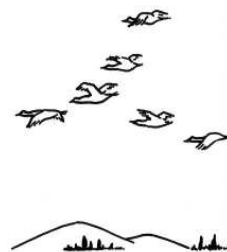
賃金水準の引き上げは緊急の課題

2009年度の大赤字からのV字回復で日立は売り上げが減少しているにもかかわらず利益を大幅にのばしました。

利益回復の最大のものは賃金をコストとする声のもとに、派遣社員や請負の労働者の首切りや切捨てをしてきたからです。生きた労働者の賃金を生産資材等と同一とすることはほとんどないことです。

また成果主義の導入以来労働者はバラバラにされ賃金や労働条件が改善されない期間がつづいています。

製造業の平均賃金はバブル期以前の水準まで落ち込んだとか、賃金水準の底上げは、景気回復のためにも、早急に改善すべき課題です。労働組合は大幅なベースアップの要求を掲げるときです。



湘南の海

前回に引き続き自転車の旅、今回は箱根越え静岡市までのサイクリング。朝8時小田原を出発、国道1号線、早川を左に、箱根湯本に▼これより「天下の険」厳しい上り坂に差し掛かる、喘ぎながら宮ノ下まで、ここからは自転車を押して登る。芦の湯まへのダウンヒルを一気に駆け下りると「芦ノ湖」が目の前に広がる。旧街道の杉並木と湖を左右に見て、「箱根関所」うらを走り抜けます。

11時30分「箱根峠」に、所要時間3時間30分ついに「天下の険」を登りきりました▼いよいよ静岡県、三島の町が眼下に。ここからは20数キロのダウンヒル、全身に爽快な風を受け、ほとんどノーブレーキで三島の市街地に入りました▼富士山が全身惜しげもなく見せてくれます。富士の湧水群で成り立つ「柿田川」に立ち寄ります。子供達がきれいな浅瀬で水遊び、名物の豆腐と蕎麦で遅い昼食休憩です▼気合を入れペダルをこぎだす、めざす静岡市まで50キロ余り、ほとんどアップダウンがないまっすぐな道だ。富士川にさしかかる、南アに端を発し、長野・山梨・静岡を貫く日本3大急流の一つ、広い河口だ。旧東海道の難所、由比。そして旧清水市に入る、なぜか高架道路を走っている、脇に白バイが並走、

「どちらに行かれるんですか？」

と白バイ、「静岡市です」と私、

「ここは自動車専用道路です、下の道を走ってください」と白バイ「すみません」と私「気をつけていってらっしゃい」と白バイが離れてゆく、間違えて「清静バイパス」に入り込んだようだ。旧静岡市内に入る駿府城址に近い友人宅に着く、午後5時になっていた。



T記